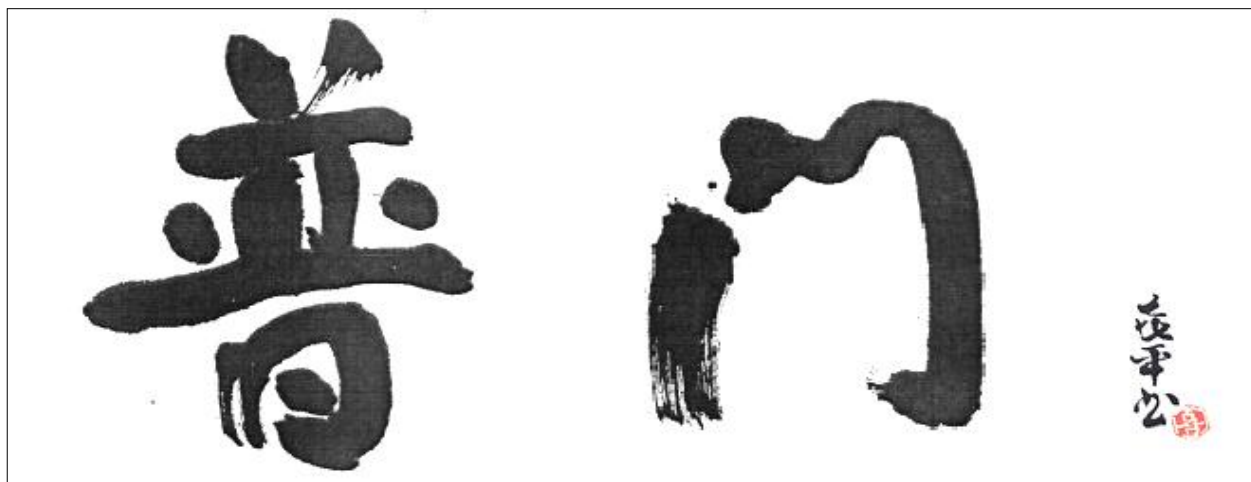




医療法人普門院診療所機関誌 平成27年 新春号



看清坊・能羅坊の花

フラワーアレンジ 長尾 佳子

明けまして御目出とうございます

西明寺住職

普門院診療所医師

田中 雅博



西明寺では大晦日深夜に除夜の鐘を撞き始め、元旦午前0時半から初護摩祈願を行いました。例年と同様、消防団の方々にご協力を頂き、今年も深夜に大勢の参拝者が御来山されました。

このような静かな新年の迎え方は日本独自の風習で、他の国々では花火を上げたり爆竹を鳴らしたりして大騒ぎをすることが多いようです。日本では、静かに前の年を反省して煩惱を打ち消す除夜の鐘を聴き、初護摩に参加して無智の薪を焼き、今年こそ良い人になろうと願うのです。

除夜の鐘は108回撞きます。108という数字は煩惱の数を表しています。煩惱こそが争いや苦しみの原因です。煩惱は基本的には貪瞋癡という三毒にまとめられます。貪欲(むさぼり)と瞋恚(怒り)と愚癡(愚かさ)です。相手が悪いのだと思って怒る。しかし怒っているのは自分の心であり、自分の欲望が満足しないから怒っているのです。これに気づかないことを愚癡といいます。さらに元を辿ると「自分というコダワリ」に行き着きます。108の煩惱は「自分というコダワリ」から生じているのです。

三毒の対極にあるのが清浄・清涼・光明の三義で貪りが無い淨らかさ、怒りの熱を静める涼しさ、愚かさの闇を照らす智慧の光です。これを実現した理想の人格を仏陀(目覚めた人)といいます。自分というコダワリが無いので他人を自分と差別せず、もちろん争いをすることはありません。これが日本の伝統的文化であり、歴史的にも宗教戦争(宗教を理由とした戦争)が無いという特徴があります。

除夜の鐘は、中国から宋の時代に日本に伝えられたのですが、中国では行われなくなっていました。ただ寒山寺では108回の除夜の鐘を撞いています。寒山寺の梵鐘を日本軍が調達したという話を聞いて戦後に日本から梵鐘を寄付したのだそうです。それで寒山寺では除夜の鐘を復活したとのこと。争いを無くす除夜の鐘が世界中で撞かれるようになることを祈願いたします。

西明寺の護摩祈願は正月が三箇日、2月以後は第1日曜日に行っています。護摩祈願は弘法大師が日本に伝え、以来千二百年続いている祈願法です。弘法大師は膨大な文章を残されていますが、護摩に関して直接書かれたものはないようです。ただ弟子が弘法大師から聞いた「護摩というのは焼くという意味、焼きつくせば空である」という言葉が残っています。護摩を焚く行者は癡の薪を燃やして空という智慧を獲得しますが、護摩に参加する参詣者も護摩壇に近づいて護摩木を燃やせた方が良いでしょう。そこで西明寺では古くから、参詣者も直接護摩壇の炉に願い事を書いた護摩木を入れて燃やすことが行われています。

空という智慧は般若心経にも書かれています。護摩修行のようなヨーガの行が完成したら五蘊皆空になった(行深般若波羅蜜多時照見五蘊)という内容です。五蘊というのは、お釈迦様が四苦八苦の最後の苦しみをまとめた五取蘊で「自分」というコダワリの幹から出た五つの枝です。

五蘊の最初の色は「この身体(色)は自分であり自分のものだ」というコダワリです。しかしお釈迦様は言います。自分のものだったら、思い通りになるはずでしょう。思い通りになるものを自分のものというのです。この身体が自分のものだったら、自分の思い通りに若いままでいて、病気にならず、死なずにいられるはずでしょう。しかしこの身体は、必ず年老いて、病気になって、死んでしまいます。思い通りにはならないこの身体(色)は自分のものではありません。このようなお釈迦様の言葉は理解はできても、実際に「私の身体」というコダワリを無くすことは容易ではありません。そこで護摩修行のようなヨーガ(心の働きの制御)が行われます。

四つの心の働き(受・想・行・識)も同様に、合わせて五蘊(色・受・想・行・識)というコダワリです。これらを焼きつくしてしまったなら自分というコダワリは空っぽになります。一切の苦しみをまとめた五蘊が空になるということは、一切の苦を乗り越えることになるわけです。

今年が良い年でありますように願う。自分自身が煩惱から自由になれるといい。そのために、心の中で護摩を焚く内護摩があります。しかし、お寺で行う護摩祈願(外護摩)に参加の方が具体的です。他で護摩祈願を行うには通常数千円以上の費用がかかりますが、西明寺の護摩は参加料は無料です。第1日曜日の午後1時から行います。よろしかったら西明寺本堂に来てご参加下さい。



西明寺庫裡周辺が新しくなりました



弘法大師の聖水



むべの木

職員紹介

看清坊 介護職員
小出 光雄



ご挨拶を申し上げます。この度、看清坊で働くことになりました、小出と申します。

介護とはどのような仕事なのか介護の基本を学びたいと思い、看清坊でお世話になることになりました。

どうぞご指導のほどよろしくお願いします。

看清坊 介護職員
光岡 黎子



25年間の幼児教育に携わって来た私が、この度御縁を得て看清坊のお手伝いをほんの少しですが、させていただくことになりました。

同じ目線に立ち、しっかりと目を見て話す。そこには信頼と安心が生まれます。子どももお年寄りも同じです。それでも180度の転換に不安と戸惑いを感じていました。そんな私の心の内を人生の先輩は察知したのでしょうか。「おねえさんありがとう」「おねえさんお茶美味しいよ」と。70才を前にした私も、「おねえさん」の言葉にはつい嬉しくなっていました。元気をいただきました。こちらこそありがとう。

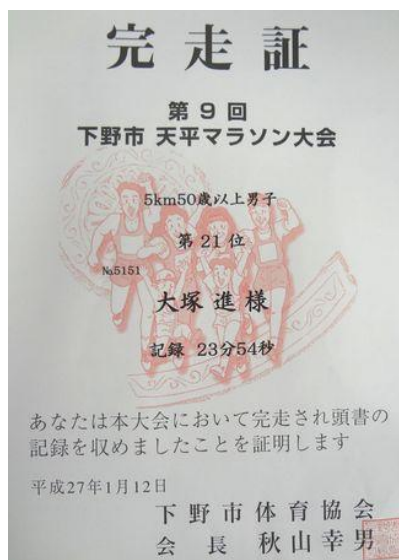
朝の茶に 媼の笑顔 花の春

第9回下野市天平マラソンに参加



大塚 進さん

1月27日に第9回下野市天平マラソンが行われ、2051組が参加する中、大塚進さんが診療所代表で出場、見事完走されました。



行事スナップ



運動会 (10/24)



玉入れ



バレーボール



風船割り



2人の間の風船
が、なかなか割れ
ませんでした!!

秋の和食会 (11/5)



～和食会献立～

海鮮丼 (刺身)
柿の白あえ
野菜碗
芋ようかん



紅葉ドライブ (11/20)



おせち料理の会 (1/1)



節分 (2/3)



看清坊・中善坊クリスマス会 (12/4)

食事



第3回紅白歌合戦



歌唱「君恋し」



歌唱「達者でな」



ゴム踊り「斎太郎節」



バトン踊り「青い山脈」



四竹踊り「真っ赤な太陽」1



四竹踊り「真っ赤な太陽」2

四竹に兆戦
しました。



手作りの
衣装です。



歌唱「tomorrow」



歌唱「銀色の道」

能羅坊クリスマス会 (12/4)



「古城」を歌われました



職員で「赤鼻のトナカイ」を歌いました



ボランティア

益子少年少女合唱団(12/13)



大正琴ボランティア(1/9)



地域との交流

西明寺地区新年会出席(1/3)



お知らせ

風邪や季節性インフルエンザが流行する時期になりました。高齢者や病気の方への感染を防ぐために、発熱した方はしばらく面会をお控え下さいますようお願い申し上げます。私達職員も予防接種を受け、日頃から手洗い・うがい等をよく行って予防に努めています。

併せて、引き続き食中毒の予防も宜しくをお願いします。



お正月の花と飾り



《行事予定》

3 月 じゃがいも種植え

4 月 お花見会

花まつり

お花見ドライブ

5 月 さつまいも苗植え

発行日／平成 27 年 1 月 31 日

発行所／（医）普門院診療所 介護老人保健施設看清坊

栃木県芳賀郡益子町益子 4493 TEL：0285-70-1150

ホームページ <http://fumon.jp/>